

ハラール製品の進展期待

ピカソ美化学研究所社長 八木伸夫



あけましておめでとうございます。
ございます。

昨年当社は、関東の生産拠点横浜第一、第二工場に隣接して、海外生産拠点であるタイ工場の管理も含め

た、生産技術及計画として、品質の保証体制を強化する目的で、テクニカルセンターを開設致しました。今年には東京オリンピック開催の年であります。世界各国から、多くのお客様が日本を訪れる年となるでしょう。日本の化粧品、機能・品質を海外に大きくアピール出来る年であると考えます。

タイ第一工場で認定を受けた、ハラールMUIについて、今年にはインドネシアマーケットに対して受注済製品の生産スタートと共に、現地マーケットへ大きく展開が進む年となる感触を感じております。また、訪日される多くのイスラムの方に、安心してお使いいただける、ハラール化粧品が日本国内においても必要

性が高まると考えます。日本の化粧品マーケットにおいても、特に医薬部外品ジャンルにおいて、新たなシワに有効な製剤や、エビデンスの高い製品を、当社のポリシーである、「売れる化粧品」として1月の化粧品開発展を始め、お客様にご提案を推進して参ります。

(原文のまま)

た投資の継続や、新たな内製化についても取組んでいきます。

最後になりましたが、本年も皆様のご健勝とご繁栄を祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。本年も宜しくお願い致します。